

宗内寺院紹介 95

北総教区山之作部

佛法山 薬王寺



- ①本堂 ②本尊阿弥陀如来 ③延命地藏尊 ④書院
⑤法華経写経会 ⑥明治初期の大火に唯一焼き残った銀杏（雌木）

佛法山文殊院薬王寺の寺伝は明治初期、土屋地区の大火災、もらい火に依って御本尊・本堂をはじめ全山焼失しています。石碑によると開山は善閑、中興十三世圓住（享保三年三月没）。後に本堂が再建され成田市土屋地区、殿台城主馬場伊勢守勝政の護持佛藤原時代の彌陀三尊が御本尊として鎮護されました。

しかし近年前本堂老朽化の為、令和二年五月六日現本堂落慶に至り、境内には本堂・書院・福聚観音堂・政所・山門・三峰社・山王社・龍神社・水屋（水神社）・庫裡が配置されております。

又、関東百八地藏尊霊場の六十九番札所で、鎌倉時代初期の延命地藏尊をお祀りし、延命の御利益から多くの信仰を集めています。

当山行事は、御日待（正月）、法華経写経会（毎月）、観音講（江戸時代より毎月十七日）が執り行われています。

北総教区山之作部
佛法山 薬王寺

住 所／〒286-0021 千葉県成田市土屋8番地
電話番号／0476-22-1341